

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

作成日:2018年4月2日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: グリーンリバーカレッジ 現地言語: Green River College
留学期間	2017年9月～2018年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年3月26日
明治大学卒業予定年	2020年3月

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
プログラム費用	3,000	300,000 円	
保険料	300	30,000 円	
授業料	8,000	800,000 円	
宿舍費	4,350	435,000 円	
生活費	0	0円	
食費	1,080	108,000 円	
渡航旅費	3,500	350,000 円	
その他		円	
<b>合計</b>	20,230	2,023,000 円	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
ホームステイ
2)滞在費
現金
3)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )
4)設備について
<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂(浴槽) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他( )
5)住居を探した方法:
学校を通して
6)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホームステイの家族はとても優しく歓迎してくれて、設備も整っていました

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)保険について。現地の医療保険に加入しましたか?
<input type="checkbox"/> した( ) <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
3)留学前後での予防接種の必要の有無
<input type="checkbox"/> 有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 無
4)学内外で問題があったときは誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか?
留学先大学で問題に特化した人に相談しました。
5)現地の治安はどうか? また現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか? 実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか?
日本と変わりませんでした。
6)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか? (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
家、学校、町すべてが日本よりもwifi設備が整っており全く不自由することなく生活できました。
7)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
海外でも使えるクレジット兼デビットカードに日本から親に毎月振り込んでもらっていたため、現地での銀行口座開設は必要ありませんでした。
8)利便性、買い物はどうでしたか? また現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば入力してください。
学校周辺は田舎でバスで30分から1時間移動しないとショッピングモールに行くことがができず、休日はバスがほとんど運行しておらずとても不便でした。
9)授業料の支払方法、支払時期等について入力してください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)
渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内に従いました。
10)その他、生活等に関して参考となる事項を入力してください。
夜はやはり治安が悪かったです。

## 渡航について

1)ビザについて。ビザの種類を入力してください。
ビザの種類(F-1・J-1 など): F1
2)取得方法、提出書類、取得手続きにあたっての注意点等。
取得に時間がかかるため早めに手続きを始めること
3)手続きに要した日数(提出書類の取得からビザ取得まで)
約 30 日
4)出国と帰国の日付を入力してください。(西暦で入力)
出国: 2017年9月12日
帰国: 2018年3月26日
5)経路を入力してください。(例:成田→シカゴ→ニューヨーク→シカゴ→成田)
成田からシアトル
6)現地での出迎え
<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( ) <input type="checkbox"/> 無
7)到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容
オリエンテーションの期間は3~4日で授業のことだけでなく学費の支払いから携帯電話のことや保険のことなど細かくしっかり説明してくれました。

## 卒業後の進路について

1)留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。
留学後も外国の方々と関わりを持ち続けられるような活動に携わりたいです。
2)留学前の単位取得や就職活動に対して工夫した点
単位は必ずフルで取得すること。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
11単位	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めて入力して下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
MUSC103	ミュージック
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	
授業内容	アメリカの歴史的な音楽を実際に聞きながら学ぶ
試験・課題など	レポートが3回と、毎週の小テストと中間テストと期末テスト
感想を自由に述べて下さい	実践的でおもしろかった

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
american minority ethnic study	アメリカ 少数的倫理学
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	
授業内容	アメリカにおける少数派民族について学ぶ
試験・課題など	毎週のレポートとグループ発表
感想を自由に述べて下さい	ネイティブのアメリカ人と差別や偏見について話すのがとても難しかった

## 留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL iBT 受験
10月～12月	留学の面接及び選考
2017年 1月～3月	
4月～7月	VISA 取得、フライト準備、出発前オリエンテーション
8月～9月	出発、現地でオリエンテーション、冬クォーター、期末試験
10月～12月	1 か月間冬休み
2018年 1月～3月	春クォーター、期末試験、帰国
4月～7月	帰国後手続き
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	もともと英語が好きで留学は大学在籍中にしようと決めており、国際日本学部を選びました。国際日本学部には私と同じように世界に興味を持つ人がたくさんいて、友人や先輩から刺激を受けより一層留学したいと思う気持ちが強まりました。また、英語でのコミュニケーション力を磨くことは必ず自分の将来に役立つと思い、さまざまな国の人々と共に、日本とは違った視点から授業を受けてみたいと思っていたからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学前にTOEFLを受け留学できる最低ラインの点数に達したので、それ以上の点数を求めてもう一度受けることはありませんでしたが、もっと勉強して高い点数を取ってれば、留学の選択肢が広がっただろうと思います。また、もっとオフィスアワーに参加して英語でのコミュニケーション力を少しでも上げる努力をすべきだったと思います。日本にいと英語で話す機会はほとんどなく、向こうに行けば何とかかなと思って何もせずに行ったため、特に初めは話そうとすることが非常に大変でした。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト等	ネイティブが普通の生活の中でよく使う表現やスラングを、バイリンガル英会話・Bilingirl Chika というユーチューバーを使って学んでいました。聞き取れるだけでなく使える表現が増やすことで少しでも日常生活でのコミュニケーション能力を上げようと努力しました。またそのユーチューバーがもともと私の留学先付近のシアトルに住んでいたため、シアトルのことを紹介する動画を見て自分の買い物や観光にも役立てました。
この留学先を選んだ理由	学校が森に囲まれていて、山も多く自然が豊かなため、勉強するのに非常に適していると感じていたからです。また TOEFL の点数が51点以上でも ESL の授業を受けることを条件に留学することができる、数少ないコミュニティーカレッジのひとつだったからです。また Billinger Chika という日本人のユーチューバーがシアトルに住んでいたため、よくシアトルのことを紹介しており私も行ってみたい、そこで学んでみたいと思っていたからです。
大学・学生の雰囲気	留学生が非常に多くアットホームな雰囲気です。学校の留学生に対する待遇がよく、様々なことを一から丁寧に教えてくれました。学校内外で行われるイベントも盛んで、本格的なアメリカのイベントを味わったり、マウントレーニアなど山登りに参加したり、スキーに行ったりすることができました。学校全体の人数もそこまで多くなかったため、そういったイベントに参加することで友達が増えていきました。
滞在先の雰囲気(寮・アパート・ホームステイ・シェアハウス)	ホームステイの家族はとても優しく色々な手助けをしてくれ、アメリカの文化を直に味わうことができました。私のホストファミリーは両親と小さな子供3人の家族でハロウィンやクリスマスなどアメリカの伝統的行事を盛大に祝ったり、子供たちのサッカーの試合に連れて行ってくれたりと、非常に楽しく過ごすことができました。また私の帰る時間に干渉したり行動を制限したりすることは一切なかったので、プライベートの生活もほとんど気を使うことなく充実させることができましたと思います。
交友関係	友達を作る機会はたくさんあったので、様々な国の人とつながることができました。ただ、学校でよく行われるイベントには現地の学生より留学生が多く参加するため、現地の学生と友達になるのは難しかったです。特に私は寮ではなくホストファミリーと住んでいたこともあって同世代の現地の学生と友達になるには、授業などを通して話しかけて輪を広げようと努力しました。
困ったこと、大変だったこと	英語でのコミュニケーションはとても大変で、初めはストレスにもなりました。もともと英語で話すことは得意ではなかったので、何を話しているのかわからない、聞き返されるのが怖いと億劫になっていました。私の場合は、ホストファミリーに相談したり、子供たちと遊びながらコミュニケーションをとることで少しずつ会話の練習をしていきました。他に大変だったことは、交通の不便さです。近くに大きなお店やショッピングモールがなかったのでバスに乗って移動していましたが、本数は少なくバスだと移動にとっても時間がかかり、休日はほとんど本数がなかったため、移動手段に困りました。
学習内容・勉強について	私は歴史系の授業を主に履修していたため、現地の歴史などを現地の学生たちの意見を聞きながら勉強することができました。またプレゼンテーションや発表が多く、その準備や練習をよくしていました。課題などは主に授業前後に図書館にこもって行っていました。エッセイなどは writing center というところでアイデアの提案や文の構成やまとめ方など丁寧にアドバイスしてくれるため、よく活用していました。

課題・試験について	レポートや課題の量は日本の大学とは比にならないほど多く、毎日課題をこなし、プレゼンテーションの準備をしていました。毎週指定された書類や本を読んで2、3ページほどのレポートを書いたり、その週で習ったことのクイズを週末に受けたりしていました。中間や期末テストがグループ発表という授業もあり、それぞれ分担したところを事前にまとめて、メンバーと集まり、練習したりしました。
大学外の活動について	大学外の活動として毎週日曜日に教会に行っていました。よく学校にくるキリスト教団体の方々が週に1回ほど寮でフリーフードやバイブルスタディーを行っておりそれらに参加するようになったことがきっかけです。日本では教会に行く機会など今までになかったため日本と違った文化や宗教を学び、そこで新しく人と出会えることは非常に貴重だと感じました。また、教会の人々と関わることでより一層アメリカの文化を生で感じたり、今まで知りえなかった考え方を学ぶことができましたと思います。
留学を志す人へ	留学に行く前に絶対に英語を話す努力をしておくべきだと思います。特に私のように英語を話すのが得意ではない方は、留学中に話すのが億劫になり、留学先には日本人もたくさんいるため、日本人ばかりと一緒に過ごすようになってしまうかもしれません。自分も日本人全員と関わっていたわけではありませんが、関わることで学べることもあると思いますし、人脈も広がると思うので、日本人を不必要に遠ざける必要はないと思います。ただ、それ以上に自分から現地の学生と仲良くなりに行ったり、積極的に学校のイベントに参加して語学力を伸ばす努力を常にしていないと、留学する意味がなくなってしまうと思います。

## 1 週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	図書館	図書館	図書館	図書館	図書館		教会
	授業	授業	授業	授業	授業		
午後	授業	授業	授業	授業	授業	家族と外食	
夕刻	授業	ジム	授業	フリーフード			
夜							